



初任科第 94 期 日進月歩

静岡県消防学校 初任科だより vol. 2

～消防学校生活！～

消防学校に入校してから早くも3か月が過ぎました。入校当初と比べると学校生活や集団生活に慣れ、時間や規律を守ることが当たり前になりました。一人ひとりが責任感を持ち、主体性を持って訓練に取り組む機会も増え、緊張感を持ちながら初任教育を受けています。

人員、姿勢、服装などを毎朝検査する点検では指摘箇所も減り、無事に冬服から夏服に替わることができましたが、依然として服装の乱れ等により指摘を受ける学生や隊列から外される学生もいます。

残り3か月の学校生活の中で、より一層共同精神の意識を高めて初任教育に取り組んでいきます。

～野外訓練！～

5月25日（木）に「野外訓練」が実施されました。消防学校を起点とし、浜石岳で折り返し、被災地想定消防学校を目的地とする往復30kmの道程を重さ約20kgの荷物を背負いながら完歩するという非常に厳しい訓練となりました。

出発式では総代から、「俺たちはこの2か月、教官からの厳しい指導を乗り越えてきた！俺たちならできる！10時間後この場で会おう！」という言葉がありました。

訓練は予想を遥かに超える厳しさとなり、隊列が乱れ、遅れをとる学生が何人も出ましたが、学生同士で協力して背中を押し、言葉で鼓舞し、全員が絶対に完歩するという気持ちで歩きました。惜しくも途中で脱落してしまった学生もいましたが、サポート役に徹し、第94期が一丸となって完歩することができました。

過酷な環境の中で、同じ目的に向かってひたむきに頑張ることにより、学生同士の和・絆を育むことができました。



(野外訓練・出発式)



(野外訓練・浜石岳)

発行日：令和5年6月30日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第94期 文化委員

大隅 裕心（静岡）、塩川 颯音（御殿場）、

駒形 倫太郎（袋井）